

滋賀県の契約に関する取組方針の実施状況等について

1 取組方針に係る進捗状況について

- ・取組方針記載項目 : 197
- ・実施済項目 : 186
 - うち令和 5 年度の新規取組 : 8
- ・引き続き検討を進めている取組 : 11

2 新たに実施した取組について

基本理念 1 契約の過程の透明性、競争の公正性の確保および不正行為の排除の徹底

取組方針	取組内容	事業者調査で寄せられた意見
<p>【取組方針 27】 建設工事等業務委託以外の業務委託にかかる入札および契約手続の運用状況等について、滋賀県契約審議会から意見を聴く。</p> <p>【取組方針 28】 入札および契約手続の運用状況等について、滋賀県契約審議会から意見を聴く。(物品購入)</p>	<p>・第 1 回滋賀県契約審議会において契約状況実態調査結果を報告し、意見交換を実施。</p>	—
<p>【取組方針 56】 建設工事等業務委託以外の業務委託について、談合情報があった場合の対応マニュアルに基づき対応する。</p> <p>【取組方針 57】 談合情報があった場合の対応マニュアルに基づき対応する。(物品購入)</p>	<p>・建設工事等における対応マニュアルを参考に、業務委託および物品購入について、談合情報があった場合の対応マニュアルを策定(予定)。</p>	—

基本理念2 契約の履行により提供されるサービス等の質の確保

取組方針	取組内容	事業者調査で寄せられた意見
<p>【取組方針 69】 建設工事等業務委託以外の業務委託について、業務に応じてあらかじめ定型的な内容を定めた仕様書を庁内で共有する。</p>	<p>・庁舎管理業務に係る標準仕様書について、庁内グループウェアにおける共有を開始。</p>	<p>(設問 10(2)：県と民間との比較) ・仕様書の内容が具体的でない／細かすぎる ・発注側（県）が仕様内容を理解して作成していないと感じることがある</p>
<p>【取組方針 92、98】 発注等事務の簡素化を検討する。</p>	<p>・電子契約システムを令和6年度から導入予定。</p>	<p>(設問 13：入札制度の改善提案) ・電子契約を導入して欲しい ・提出書類が多すぎる</p>
<p>【取組方針 114】 建設工事等業務委託以外の業務委託について、業務の監督または検査を行う職員の資質の向上のため、研修等を実施する。</p>	<p>・業務委託の履行確認に係る研修を実施（年度内実施予定）。</p>	<p>(設問 10(2)：県と民間との比較) ・担当者が仕様内容を理解していない点があり、仕様どおりの業務が実施されているかのチェックが出来ていないように思う。 ・担当者によって求められるレベル・成果物が違う</p>

3 引き続き検討を進めている取組について

基本理念1 契約の過程の透明性、競争の公正性の確保および不正行為の排除の徹底

取組方針	現在の検討状況	事業者調査で寄せられた意見
<p>【取組方針 13】 建設工事等業務委託以外の業務委託について、予定価格等の公表を検討する。 【取組方針 17】 予定価格の公表について検討する。(物品購入)</p>	<p>・一部の業務等について、予定価格の事後公表を検討。 (詳細は、資料3のとおり)</p>	<p>(設問 10(2)：県と民間との比較) ・契約金額が仕様に見合っていない ・何年も委託金額の見直しがされておらず、人件費の上昇とのずれが生じている</p>

<p>【取組方針 22】 建設工事等業務委託以外の業務委託のうち特定調達契約以外に係る苦情の処理について規程を整備する。</p> <p>【取組方針 24】 特定調達契約以外に係る苦情の処理について規程を整備する。(物品購入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情処理に係る規程等について検討。 	<p>—</p>
<p>【取組方針 36】 建設工事等業務委託以外の業務委託について、プロポーザル方式による場合の適用基準を策定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロポーザルに係る事務処理要領の改正および総合評価競争入札に係る事務処理要領の制定について検討。 	<p>(設問 11(3)：プロポーザル方式での仕様書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数値目標などが載せられているが、現実的に難しいと思う事が多々ある。 ・ 県が何をしたいのか全く記載がなく、説明会もなかったため、提案のヒントがつかめなかった。 ・ 提案内容の検討期間が短すぎる。
<p>【取組方針 43】 建設工事等業務委託以外の業務委託について、入札参加資格要件を審査する仕組みを構築する。</p> <p>【取組方針 44】 入札参加資格要件を審査する仕組みを構築する。(物品購入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札参加資格要件について審査を行う審査会等について検討。 	<p>(設問 13：入札制度の改善提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加資格の条件(何年以内の実績証明書の提出の条件等)を改善していただきたい。 ・ 参加要件を満たしているかどうか、入札参加資格審査結果を見ないと分からない案件が非常に多いと感じる。 ・ 入札参加条件に「実績の有無」を問うことが新規参入を妨げている。

基本理念3 地域経済の活性化への配慮

取組方針	現在の検討状況	事業者調査で寄せられた意見
【取組方針 142】 規格、品質、価格等が適した県産品がある場合は、これを優先して購入するよう努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・県産品の優先購入について検討。 	—
【取組方針 147】 県内事業者育成の観点から、県内事業者の技術力向上を考慮した発注方法の在り方を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・県内事業者を含む共同企業体（JV）による入札等への参加について、調査、検討。 	—

基本理念4 一定の行政目的の実現を図るための契約の活用

取組方針	現在の検討状況	事業者調査で寄せられた意見
【取組方針 160】 CO ₂ ネットゼロ社会づくりの推進に取り組む事業者等から優先的に物品等の調達を行うことを検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン入札参加資格事業者をグリーン購入およびCO₂ ネットゼロ社会に繋がる環境負荷の低減に積極的に取り組む事業者として位置づけ、グリーン入札実施要綱およびGP プラン登録制度実施要綱を改正、庁内通知（予定）。 ・グリーン入札参加資格事業者の拡大方策を検討。 	（設問6：環境に配慮した取組等） <ul style="list-style-type: none"> ・「グリーン入札」案件を増やし、中小事業者でも経営面で気軽に取り組める「GP プラン滋賀」への登録事業者の裾野を広げていくことで、県全体の環境意識も高めていけるのではないかと考えている。
【取組方針 197】 一定の行政目的の実現に資する取組の活用方法等を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会政策推進に配慮した入札等実施要領」を改正し、項目を追加。 →R4.4.1～環境マネジメントシステムに係る認証等を追加 →R5.12.1～障害者雇用関係および女性活躍推進関係の取組を追加 ・入札および契約に反映すべき取組内容等を検討。 	—

